

令和4年6月6日

長野県

建設部長 田中 衛 様

東海旅客鉄道株式会社

中央新線推進本部 中央新幹線建設部

名古屋建設部長 新美 憲一

中央新幹線伊那山地トンネル新設（坂島工区）における
狭窄労働災害に関する再発防止計画書の報告について

平素より弊社事業には、格別のご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が発注している中央新幹線伊那山地トンネル新設（坂島工区）工事の施工において、令和4年4月15日に、狭窄労働災害（以下「本事象」という。）が発生しました。同工事では連続して労働災害が発生しており、事業者として重く受け止めております。受注者である中央新幹線伊那山地トンネル新設（坂島工区）工事共同企業体（以下「坂島JV」という。）において本事象の背後要因まで掘り下げた添付の再発防止計画書を作成し、弊社も本事象に対して具体的であり実効性のある対策であることを確認しましたので、ご報告致します。

弊社としては、同工事において過去に長野県にも報告している肌落ち労働災害やコンクリート配管目詰まり除去中の労働災害の際に掲げた安全対策を引き続き履行し、実施状況を確認していくことに加え、本事象の再発防止計画書に記載されている対策が、施工現場で確実に履行され、安全に工事が進められていることを週1回以上実施している現場点検等を活用し確認して参ります。また、坂島JVや作業員との協働による安全文化の醸成を行って参ります。

本事象については、同工事で連続して労働災害が発生したことも踏まえ、関係する地域の協議会等でご説明するなど、地域の方々のご心配やご不安を解消し、信頼を損なわないよう、地域との連携を進めて参ります。

また、中央新幹線安全推進協議会（長野県）などを通して、本事象の概況を他工区の施工会社にも展開するとともに、同種の労働災害事例やその再発防止の取り組み事例について意見交換を行い、出席した施工会社間で互いに参考となる取り組みの採用を検討していくなど再発防止意識の共有を図りました。

なお、世の中から高い関心を持たれている中央新幹線建設工事において、事故防止のために、安全意識を高揚させるという当事者意識を施工会社社員から作業員一人ひとりまで浸透させていくことが、必要不可欠であることを出席者全員で共有しました。

引き続き、事業者として、過去に同工事で発生した労働災害も含めて、対策が確実に履行され、作業員一人ひとりまで安全意識の高揚が図れるよう指導、確認して参ります。

以上